

ProMED-mail情報 2019年 1月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	ラッサ熱 ナイジェリア	1月14日～21日で新たに74例の確定例と377例の疑い例を確認。2019年に入って31例の死亡例。エボニ州で医療従事者1名の感染が報告。9つの州と29の地方自治体において発生が確認されており、依然として広範囲で流行中。
29日	口蹄疫 韓国	28日、韓国の乳牛牧場で昨年3月の豚での流行以来となる口蹄疫が確認されたと農業省が発表。発生したのは安城市（京畿道州）南東部の120頭の牛を飼育する牧場。同省は牛の殺処分と一時的な輸送禁止、消毒と検疫の強化を表明。
26日	アフリカ豚コレラ 台湾	24日、行政院農業委員会は新たに4件の中国産豚肉製品でアフリカ豚コレラが検査陽性であったと発表。合計18例となった。
22日	アデノウイルス感染症 米国	インフルエンザ流行期間であっても、臨床医と公衆衛生の専門家は重症呼吸器疾患の原因にヒトアデノウイルス7d型を考慮すべきと研究者らが報告。2016年12月～2017年3月のニュージャージー州近隣3州の流行では、12例中4例が死亡。
17日	ウエストナイルウイルス 感染症 米国	環境天然資源局は15日、ウィスコンシン州で初めてのライチョウのウエストナイルウイルス感染例を発表。検査された16羽のうち3羽でウイルスが確認。この他に238羽の検体を検査する予定。同局は、持ち込まれた病鳥やハンターが自主提供したライチョウの血液検体についても検査を施行。
13日	ダニ媒介性脳炎 スイス	政府当局は国民すべてに対しワクチン接種を呼びかけ。従来は一部地域だけの接種勧奨だったが、過去数年間は100例/年に留まっていたものが2018年には380例と増加したため、対象地域が拡大。ダニの体の一部が皮膚の中に36～48時間以上残ると発症リスクがあるため、適切な除去が必要。
11日	炭疽 タンザニア	地域医療担当者によれば、タンザニアの南西部モンボ地区において炭疽により4人が死亡、74人が入院治療中。同地区の牛や羊に炭疽が流行中であり、Nzoka村診療所に入院した患者の1人は、死んだ牛の肉を食べて数時間ほどで発症。
8日	リフトバレー熱 研究	2018年12月、蚊が媒介するこのウイルスに妊婦が感染した場合、胎児に重大な影響を及ぼす可能性があるとの報告。ジカウイルス感染症以上に大きなダメージを与える可能性を示唆。ヒト妊娠中期において、最外層の多核合体細胞塊構造を有する絨毛組織に感染。妊婦は無症候性のことがあるため、奇形や死産例の中にはさらに多くの感染例が見逃されている可能性がある。
8日	鳥インフルエンザ ネパール	6日、カトマンズ在住の45歳妊婦とその家族2人が発熱、咳、咽頭痛、胸痛、体力低下を訴えて病院を受診。一家の働く養鶏場では1週間でニワトリ約700羽が死亡し、現在も150羽/日ほどが死亡。ニワトリはインフルエンザA迅速検査が陽性でサブタイプを解析中。患者が鳥インフルエンザウイルスに感染しているかは不明。カトマンズではインフルエンザA (H1N1) pdm09感染が流行しているが、H5N1や他のサブタイプについても注意が必要。
5日	麻しん インド	12月18日、1歳女兒がMRワクチン接種の3日後、胃腸炎の診断後に死亡。接種当日帰宅後に下痢が始まり、現地病院からバンダーラー公立病院さらにナグプル国立医科大学病院に搬送されたが19日死亡。同日に接種を受けた兄も入院したが19日退院。12月7日にはバンダーラーの11歳女兒も接種後の合併症で死亡。ウッタル・プラデーシュ州で接種後30人以上の小児がめまいや頭痛を訴え入院。
5日	ハンタウイルス感染症 アルゼンチン	チュブ州保健当局は3日、エプイエン病院に入院した小児が検査の結果ハンタウイルス陽性が確認されたと報告。これを含めた患者数は死者5例を含む14例。チュブ州北西部のアンデス山脈地区で人口約4,000人のエプイエンが流行の中心であり、感染が疑われる約220例の血液検査を実施。
4日	A型肝炎 米国	ケンタッキー州中部でA型肝炎例が著しく増加。そのひとつファイエット郡の保健当局は、2018年11～12月だけで85例、合計は124例と報告。75～80%が高リスク群。国内全体では2018年中旬までに3,200例、うち20例が死亡。予防接種と適切な手洗いを推奨。1度の接種で90%が免疫を獲得するが、完璧を期するにはそれから6ヶ月以内に2度目の接種を要する。
2日	狂犬病 ドミニカ共和国	12月29日、サントドミンゴの病院で5歳の男児が死亡。国内4例目。男児は11月19日に南西部のペデルナーデスでイヌに咬まれ、10日後から4回の狂犬病ワクチンを接種。12月14日に死亡した6歳児に続く死亡例。